

# 磐城時報

編輯部 石城郡平町新屋町十四  
印刷部 石城郡平町新屋町十四  
電話 一四二二  
代印部 石城郡平町新屋町十四  
電話 一四二二  
廣告部 石城郡平町新屋町十四  
電話 一四二二  
印刷部 石城郡平町新屋町十四  
電話 一四二二

## 龍田の小松幹夫氏 債務者に殺害さる 昨夜自宅で對談中 加害者附近の者に捕はる

双葉郡龍田村元縣會議員小松幹夫氏は二十二日午後九時四十分來訪した客人同村大字大谷猪狩傳(五四)と對談中ラヂオ機械を直すため後を向いた際猪狩のたぬめ出及庖丁で背部から斬りつけられ格闘を演じ遂に心臓部を突き刺され十分位に絶命した。加害者猪狩傳は富岡署に自首しやうとしてゐるうち附近の者に押へられ同夜自動車で富岡署に送られた。平検事局から一十三日朝三笠検事等富岡町に出張取調へ中である。

## 當時の模様について 小松家の家人は語る

殺害された小松幹夫氏の家人は語る。「猪狩さんは昨夜午後八時頃訪ねて来ました。爐を囲んで主人と話をしておりましたが、口論めいた事もありませんでした。勿論兇器を持つて来た事などは知りませんが、九時半頃主人と客を残して風呂に入つてゐると叫び聲がしたの

總會を開き、來年度豫算その他石城郡錦村助川(八〇)を附議したが、米價暴落に伴ふ製麴定價を協議の結果從來の二升三錢を七錢値下げして十六錢とする事になり尙組合長改選の結果白土七太郎氏當選就任す

## 青木兒氏の 獨唱會開催

平町兒童藝術研究會では二十四日午後六時から平町平陽女學校講堂で世界的ナター青木兒氏の獨唱會を開催する事になつた。伴奏は石丸泰郎氏である。入場料三十錢定員五百名である。青木氏は音楽學校在學中既に三浦環女史と共に聲樂界の双壁と稱せられ、其靈妙な美聲と驚嘆すべき技術は専門家のして「日本を代表する唯一の聲樂家」と嘆賞せしめ、在學中長く御前獨唱の光榮に浴し音楽史に赫たる事蹟を印した。又氏は日本に於ける管絃樂伴奏に依る獨唱のレコードホルダーであり、これを聴いた外國記者は故國の新聞に「日本に聲樂の慧星現はる」と報じ我が國の音樂評論家は筆を揃へて「青木氏の前に青木氏なく、青木氏の後に青木氏なし」と三嘆した。日本聲樂界の至寶である。

## 記者無銭飲食

郡警崎村町新報記者鈴木嘉吉(三六)加藤(二七)の兩名は湯稀代の詐欺犯人神奈川縣三浦郡踏み倒し逃走させた石城郡小名浦賀町字鴨江生れ前科一犯青木濱町生れの情婦平町字田町橋家由五郎(三三)は前借千五百圓を事大河原の一方抱へ藝妓若千代

## 老婆殺しの少年に 無期懲役を求刑 辯護士は無罪論を主張 判決言渡しは二十七日

石城郡山田村大字井上字法田、法田寺境内觀音堂に安置の千手觀音像は今年より千年前の弘仁年間のこととして國寶指定の價値十分な處から八代本縣囑託は再參同地に出張詳細調査中にある同佛体は素木作り高さ一丈六尺の大立像である。

## 千手觀音 國寶指定調査

石城郡山田村大字井上字法田、法田寺境内觀音堂に安置の千手觀音像は今年より千年前の弘仁年間のこととして國寶指定の價値十分な處から八代本縣囑託は再參同地に出張詳細調査中にある同佛体は素木作り高さ一丈六尺の大立像である。

## 石棺掘發

石城郡豊岡村大字沼之内鈴木幸三氏は今回同字諏訪地内の所有田圃から耕作中に深さ一尺八寸の石棺を發見し、中には人骨、劍、管玉等、中には人骨、劍、管玉、丸玉等數十箇あつた。次いで眞木辯護士が約一時間半、永野辯護士が四時間にわたつて何れも無罪論を主張し午後八時閉廷した。判決言渡しは歴史一切不明で目下調査中である。

## 詐欺額約二萬圓 青木由五郎の犯罪 藝妓若千代も留置し 平署で詳細取調へ

稀代の詐欺犯人神奈川縣三浦郡踏み倒し逃走させた石城郡小名浦賀町字鴨江生れ前科一犯青木濱町生れの情婦平町字田町橋家由五郎(三三)は前借千五百圓を事大河原の一方抱へ藝妓若千代

事楠川まつ(二二)と共に十九日平署に身柄を送られ目下齋藤警部補に取調べられてゐるが、由五郎は四年二月頃ふらりと單身平町へ來たり吉田伯吉鐵工場や吉野鐵工場で酸素熔接職工として働いてゐるうち技術がすぐれ且應對等も巧な所から信用され次いで昨年七月頃江名町鐵工場吉田政雄方に雇はれてから言葉巧に政雄をあざむき、濱松市の遠州織機會社の土地を買取工場を立てるのに一萬圓ばかり資金を要すると會社との契約書類や登記書類を見せ等主なるものでその他各地で政雄から二千三百圓を騙取し去取した金額は合計三萬圓に達する二月十日逃走したものである。他主なる詐欺は(一)平町字仲町元平署長伊藤(二)儀七氏から二月十日旅費として日圓騙取(三)平町字田町料理店石川清吉方(四年十一月十二日以來數回登樓止五圓七十一錢の無銭遊樂)(四)平町字田町料理店高木伊勢松方で同様七十五圓一錢の無銭遊樂(五)平町字鍛冶町高根澤秀雄から旅費として百圓騙取(六)四年十月平町字南町關口よし方に鐵工業の事業家といふふれ込み七百廿二圓九十四錢の遊樂費を踏み倒した外現金百圓騙取(七)藝妓長松事鳥塚(八)から三十圓詐取

坂田坑の爭議  
福島炭礦にも波及か  
五百餘名罷業 決行  
平署で嚴重警戒

福島縣石城郡赤村福島炭礦坂田これに同情幹部労働者に直ちに礦山從業労働者は労働賃銀値下金山從業員に對し白米一升乃至げに關し委員をあげ經營者坂田五升の密附を求めると同時に爭順榮氏に對し頻りに要求しての議の指揮することを命令を發したが、何等纏まる所がなかつた。五百餘の從業員は俄然罷業をなし要求した所、同氏は政府でさへ失業救済に手を焼いてゐる今日諸君等は幾らでも喰ふだけの賃銀をとつてゐればそれでよいではないかと回答をなし斷然要求を拒絶した爲め委員等は、大いに激昂して直に長屋に引あげ協議の結果坂田從業員を呼んでゐる。

長谷川椅子店  
歳末賣出し

忘年會  
相馬區裁

相馬支局通信

**▲土藏破り** 廿日未明 相馬郡新館村杉浦富次郎方の土藏を破つてタンスを壊し衣類六十余点価格二百圓を盗んだものあり川俣署で犯人殿探中。

**▲相農校校納祭** 縣立相馬農藝學校の校納祭は廿日舉行され祭式後生徒の郷土舞踊並びに民謡大會あり大盛況に終りを告げた。

**▲新任署長の着任** 須賀川署長から轉任となつた原町署長原吉三郎氏は廿一日着任町内各官衙學校其他有志家を廻り新任の挨拶した。

**▲醬油の投げ賣り** 相馬郡原町の醬油販賣業者は歳末に際しそろそろ投げ賣りを初め先頃一升十五錢といふのがあつたが、今度は十二錢となり益々猛烈で郡山市に於ける一升三錢迄行くのがどうか。

**▲耕整組合認可** 豫て企圖せる原町大字上瀬佐大畑村耕地整理組合も今回認可されたので近く着手し荒原變じて黄金の波を見せる美田となす筈。

**▲女中の家出** 相馬郡原町驛前中村屋旅館方女中御持いち(二)は二三日前實母の許へ行くまで家出し仙臺方面へ逃走した形跡なので行方捜索中。

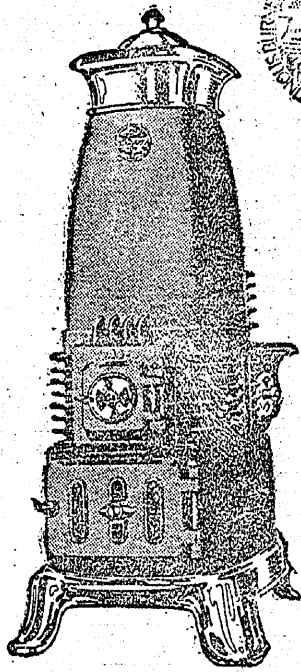
**▲交通安全映畫會** 本縣自動車協會浪江支部長百足常次郎氏主催のもとに交通安全防止宣傳映畫を原町新山町を中心として撮影したるが愈々完成したので来る二十七日、八日頃原町で封切公會する。

長谷川椅子店の 自製洋式家具 年末破格大廉賣

机……………二、二〇  
 テーブル……………四、五〇より  
 本箱……………三、〇〇より  
 椅子……………八〇より

其他在庫品種々御つごめ致します是非御求め下さい………皆様の御来店を御待ちしてゐます

期間十二月二十三日ヨリ八日間



嚴冬征服の王者

ストロブはフクロク

ストロブを御選定下さい  
 (一)最も安い石炭で最も良く燃ゆるストロブはフクロクの右に出づるものはありません  
 (二)石炭商の立場より各種のストロブを厳密試験の結果始めて理想的フクロクストロブを見出しました  
 御希望の御方へカタログを持参して御説明申上ます  
 何卒御下命の程を

福島縣總代理店 阿部石炭商店 電話二三七番



不景氣蹴飛ばせ  
 ◎五圓均一(革靴)自由  
 赤、黒、短靴、編上靴でも  
 ◎耐久保證券付革靴  
 破損(三ヶ月以内新品交換  
 破損(十ヶ月は修繕無料)

高級ゴム長靴 菊地靴店  
 祝七五三………子供靴特價提供

文化暖爐

炭も。揮發油も。電気も使はず  
 ホカ／＼、温い 入替劑料(四十日分)  
 最新化學の生んだ理想的保温器  
 火なしあかん  
 定價(一組)(材料付三圓)  
 ▼一般家庭の保温用(殊に小兒、老人、病人用) ▼病院にはベットの保温用 ▼自動車にはクッションの保温用 ▼旅館等には蒲團の保温用 ▼事務所には椅子の保温用 ▼麻雀俱樂部等には座布団の保温用 ▼安全と經濟を兼ねた時代の必需品

販賣店 小野常治商店 電話百四十四番

木村病院

平新川町十九  
 電話一六四  
 産科 院長 木村寅次郎  
 婦人科 女醫 木村コウ  
 内臓外科 醫學士 松永憲一  
 整形外科 醫學士 萩原駿二  
 藥局 東京藥學士 萩原駿二

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)  
 元赤心堂病院跡

安齊外科醫院 電話四七五

君はい、型の洋服を求められたね。眺だね？いや君コレは四丁目マルトモビル停車場で販賣中のソレ正札堂さ



目丁四 正札堂

耳鼻咽喉科 専門

應入 需院 合津醫院 電話五五九番

印刷物は………加納活版所

度量衡計量器 吸入酸素器

關内藥局 電話四〇番